

2020 年 10 月 30 日  
第 25 回測量行政懇談会

## 基本政策部会の再開について

### 1. 背景

#### ① 地理空間情報活用推進基本計画

現行計画の計画期間は 2017（平成 29）～2021（令和 3）年度の 5 年間。

地理空間情報活用推進会議において今年度後半から次期計画の議論が行われることを踏まえ、今年度中に「測量行政分野で盛り込むべき施策」を検討することが必要。

（参考）第 2 期・第 3 期基本計画策定にあたり、基本政策部会で盛り込むべき施策を検討した。

#### ② 基本測量に関する長期計画

現行計画の計画期間は 2014（平成 26）～2023（令和 5）年度の 10 年間である（今年度が 7 年目）。

今後、次期長期計画（計画期間：2024（令和 6）～2033（令和 15）年度）の策定に向け、10 年程度先を見据えた基本測量に関するビジョンを検討する必要がある。

（参考）現在の長期計画を策定する際、政策レビューの評価をもとに長期計画案を作成し、基本政策部会（3 回実施）に諮りご意見をいただいた。

#### ③ 国土交通省政策レビュー

2020（令和 2）～2021（令和 3）年度に国土交通省政策レビュー「地理空間情報の整備、提供、活用」を実施予定。政策評価を行うに当たり、第三者等の知見を活用しながら施策の効果などを分析する必要がある。

### 2. 測量行政懇談会での対応（案）

上記の背景を踏まえ、2020（令和 2）年度より「基本政策部会」を再開させることとし、「中長期的な測量行政のあるべき姿」を議論することとしたい。 具体には、

- ① 5 年程度先（2025 年頃）の社会を見据え、中期的に測量行政はどうあるべきか。
- ② 10 年程度先の社会を見据え、長期的に測量行政はどうあるべきか。

を議論し、必要な施策（制度改正も含む）をまとめ、次期基本計画や次期長期計画などに反映する。測量行政の現状を把握した議論とするため、部会の議論には「政策レビュー」に向けた意見聴取も含めることとする。

### 3. スケジュール（案）

- ① 部会は年に数回開催する（今年度は2回を予定）
- ② 今年度末に、「5年程度先（2025年頃）の社会を見据え、中期的に測量行政はどうあるべきか」の結論を「測量行政の観点から次期基本計画に盛り込むべき事項」としてまとめる。
- ③ 2022（令和4）～2023（令和5）年度に「10年程度先の社会を見据え、長期的に測量行政はどうあるべきか」の結論を報告書としてまとめる。